

2022-23年度RIテーマ  
IMAGINE ROTARY  
イマジン ローターリー



RI会長  
ジェニファー・ジョーンズ

## TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会長	板場 英行	会計	土伏 英晴	直前会長	福本 博之
会長エレクト	宮本 和彦	副会計	野田 眞治	管理運営	久藤 孝仁
幹事	木村 安伸	SAA	宇都宮勝博	会員組織	堀越 賢二
副幹事	中川 康子	副SAA	三好 静子	奉仕	吉本きよ子

事務局／〒725-0021竹原市竹原町3591  
TEL／0846-22-7570 FAX／0846-22-7651  
E-mail／rc-take@estate.ocn.ne.jp  
http://www.takehara-rc.com

例会日／毎週木曜日12:30~13:30  
例会場／大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 6月8日

次週のプログラム 6月22日

次年度クラブアッセンブリー

一年の振り返り、総括

### 【2023年 6月1日 第2772回例会記録】

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング：奉仕の理想
- 4つのテスト（中川康子会員）
- 会員数：13名      免除者：0名
- 出席者：10名      欠席者：3名
- メイク：0名      出席率：76.92%

### 記念日代表謝辞



6月 木村安伸会員

### 幹事報告

【幹事 木村 安伸】

- ・6月ロータリーレート 1\$ = 140円
- ・例会終了後定例理事会を開催します

### 会長の時間



【会長 板場英行】

会員の皆さん今日は。6月第一例会における「会長の時間」です。先月19日から21日の3日間開催されました先進7カ国首脳会議（G7広島サミット）が大きなトラブル無く終了し、日常の平穏生活復帰の現況です。ウクライナの「ゼレンスキー大統領」突然の訪問で、想定以上の厳戒態勢が敷かれ緊迫感増幅の3日間でした。何はともあれ、無事に終了し休心です。この1週間においても、国内外で種々の動きがありました。

第1例会ですので、ロータリー情報提供がテーマです。会員の皆さんの手元に「ロータリーの友6月号」「ガバナー月信Vol.12」が届いています。本日もこの配付資料を基に、ロータリー情報の話題提供です。「ロータリーの友6月号」では、J.ジョーンズRI会長の任期最終メッセージが述べられています。内容の一部抜粋“今年度、私たちみんなでロータリーを「イマジン」しました。私たちはこれからも、地球環境を改善し、インパクトある方



法でストーリーを伝え、DEIを胸に、人々の声に耳を傾けられるロータリーを「イマジン」していきましょう” 6月は「ロータリー親睦活動月間」で、「世界の仲間と趣味でつながる」をテーマに、ロータリー親睦活動グループによる特技を生かした奉仕活動などの関連する内容が紹介されています。P15には100以上のロータリー親睦活動グループが記されています。世界的には「顎ひげと口ひげ」「キャンピングカー」「ワイン」などユニークな興味あるグループがあり、日本では「囲碁」「アマチュア無線」「ヨット」が追記されています。趣味を通じた親睦、悠々自適生活となれば参画したいところです。P24では、「甘い誘惑」というテーマで、菓子製造販売のロータリアンによる連載記事がのっています。ショコラチエとパティシエ、コックとシエフ、パティスリーとコンフィズリーの混同しやすい用語の説明、アフタヌーンティーのマナーやカステラとコンペイトーの由来が紹介されています。おいしい生活の雑学として有意義な内容です。またP47には、100才の百寿を迎えられた会員のお祝い例会が紹介されています。大正12年生まれの会員で例会100%出席はもとより、今でも自ら運転されロータリーライフを満喫されています。ロータリアンの生き字引のような存在で、「長生きの秘訣はストレスをためないこと」だそうです。「ガバナー月信Vol.12」では、石川地区ガバナーのメッセージ、吉原パストガバナーの親睦活動月間に向けた提言、第2710地区グループのIM報告に加え、最終ページの会員動向では、西条RC8名の新入会員、広島東洋カープ関係者の新規加入に目が移ります。毎月の進言ですが、会員各位興味ある内容を精読していただきたい。

## 記念日該当者卓話



会員 久藤 孝仁

先日TVでアメリカの企業の担当者が大切な仕事、大きな仕事に大切なのは「人間関係」と「発想力」である。と言うような話をしていたのが、頭に残っています。私の仕事も、協力業者

との信頼関係であり、仕事をいただくのも信頼関係であります。人と人の付き合いの中で、仕事依頼が結構あります。

昔のように仕事だけ出来る人間に仕事は発注しません。仕事を通じた人間関係を築き上げた人に、仕事の発注が多くみられますし、その方を通して、また別の人間関係が築けます。ロータリークラブ

であっても、他クラブの方との信頼関係が、雪だるま式に大きくなる。そこが大切であるように最近実感します。また作業現場にしても、臨機応変な対応力や発想の転換が、安全で効率の良い仕事が出来ます。こんなことは、皆さんがすでに実行なさっておられると思いますが、あらためて考えていただきたいことです。

会員増強での掛け声に、ロータリークラブ入会で、より多くの場所で、より多くの人間関係を構築出来る環境にあるロータリークラブに、是非入会を！前に話させていただいたことがあります。私がサンフランシスコのロータリーの例会に出席した例でも、35年前くらいからの付き合いがある友人に、私のつたない英語では心もとないので、サンフランシスコの例会会場まで案内してもらい、通訳してもらい。また、2名のガバナーとレストランで、たまたま出会うことが出来ました。彼（友人）は私に英語を教えてくれたアメリカ人です。今はもう日本語を忘れていますが、どこでどのように助けてもらうかわかりません。

What a friends for！！

日本の十八番であった義理人情が日本人より他国の方の方が家族愛も含め強いように感じる場面が多くあるように感じます。そのアメリカの家族が、7月後半に日本に来ます。子供が16才と20才になっています。お父さん以外は初めての日本ですので、私の家族も同行しながら、平和公園や宮島や色々案内し、夕食での飲みが楽しみでなりません。宿泊はフォレストヒルズガーデンのコテージを予約しました。これも、空港ロータリーの伊藤元会長にお世話いただきました。ここでも、ロータリーでの人間関係が力を発揮しました。今更ながら、人間関係の力を感じるどころです。

また、最近では「終活」とやらの話で、子供に迷惑がかかるから墓じまいをしてお寺へお骨を供養してもらおうので、お墓を撤去して欲しいとの要望が少しずつ増えているように思います。

はなはだしいのは、お墓の撤去をし、お骨は捨ててくださいとかの話もあります。私は断りますが、物理的にお墓を維持するのは難しいものは仕方ないとして、先祖供養を子供への迷惑と捉えることは、いかがなものかと思えます。故人を偲び、供養する、私は当然のことだと思えます。

話が、前後しますが、皆様お一人お一人の人間関係のお力を借り、会員増強を目指し、地域経済の発展や、活発な奉仕活動が展開できるよう、また、親睦と友情をはぐくめるように、もちろん私も含め、それぞれ一人が1名の会員を紹介できるよう、地域の輪を、また、ロータリーの輪を、大きくしていきましょう！